

【様式2】 平成28年度組織目標(組織名:滋賀県立リハビリテーションセンター)

目標

番号	目標項目	目標設定の理由	目標値等(目標の内容) ※原則として定量的かつより成果を重視したものを設定	目標達成に向けての手段等	基本構想に係る 実施計画の 関連施策	総合戦略に係る 関連プロジェクト	担当所属
1	高次脳機能障がいや脊髄損傷等の障がいのある方を対象に、社会生活の自立を目標とした支援の充実。	医療福祉、地域包括ケアシステム等の理念のもと、リハビリテーションに対する期待が増大しており、当センターにも個別支援により地域に貢献する役割が求められているため。	医療部門の利用者や相談のあった人たちのうち、社会活動への参画や就労・就学のための支援等が必要な人に対し、地域社会の課題に対応した個別支援を実施。 相談者への個別支援の実施率:100% (H27:100%)	医療、就労、教育、介護、福祉等の関係機関と連携を密にし、医療部門、相談部門など当センターがもつ機能を最大限に活用して支援を実施します。	2-1 高齢者や障害者をはじめ、誰もが働き、活躍できる社会づくり	高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト	リハビリテーションセンター
2	【学ぶ力の向上】高齢者や障害のある方への質の高い生活や社会への統合に向けて、リハビリテーションにかかる専門的な支援の実施。	高齢者や障害のある方が、地域において安心して生き生きと日常生活や就労活動、社会活動ができるよう、地域への支援が必要であるため。	事業や総合相談窓口での相談対応件数:250件以上 (H26:201件 H27:346件)	リハビリテーションを必要とする方や地域で支援する方に事業等の案内を適宜行います。 電話や電子メールでのリハビリテーションに係るお問い合わせや事業を通じての相談への対応を、専門職が必要に応じて訪問などにより支援いたします。	2-1 高齢者や障害者をはじめ、誰もが働き、活躍できる社会づくり	高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト	リハビリテーションセンター
3	医療・保健・福祉・教育・職業などリハビリテーションにかかる各種の専門職を対象とした実務に活かせる研修の実施。	リハビリテーションの理解促進、知識・技術の向上、実践活動の充実等を図るため。	教育・研修事業の受講者を対象としたアンケートを実施し、実践場面で有用とする回答の回答率:95%以上 (H27:92.3%)	これまで実施してきた教育・研修事業の受講者を対象としたアンケートを精査し、また外部関係団体の代表者で構成する検討部会を開催し企画の内容について意見聴取を行います。	2-3 地域を支える医療福祉・在宅看取りの推進	高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト	リハビリテーションセンター
4	補装具および更生医療にかかる相談・判定事業の充実	市町に対する、より多くの質の高い相談・判定の提供により、適切な補装具や更生医療の利用をすすめるため。	相談・判定件数:3,000件 (H27:2,934件)	質の高いサービス提供のため、職員の積極的な学習機会への参加や福祉用具センター等関連機関との連携により、体制の充実を図ります。	2-3 地域を支える医療福祉・在宅看取りの推進	高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト	リハビリテーションセンター

※ 目標は、原則として定量的かつより成果を重視したものを設定すること。また、行政経営方針等の「攻め」、「見える」、「前向き」の視点を踏まえて、より高い目標値の設定に努めること。

※ 「基本構想に係る実施計画の関連施策」および「総合戦略に係る関連プロジェクト」の欄は、該当するものを選択すること。(該当するものがない場合は選択不要)